



ねっとわーく広報

第 12 号



月日が経つのは早いもので、今年も半年が過ぎ、一年の折り返しを迎えましたこの時期、構成員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。元号が令和となり、新時代の幕開けのようなものを感じております。当社におきましても、TMR 製造事業の本格的な稼働、水稻育苗作業の委託等、新たな試みを開始いたしました。これから夏本番ですが、お元気でお過ごしください。ようお祈りいたします。

ネットワーク大津(株) 4、5、6 月の主な行事

- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 4/1 新入社員入社 辞令交付式 | 5/20 作業委託管理費の支払い(平成 30 年産産地資金精算) |
| 6/11~13 JA 平成 31 年度新入職員研修受入 | 5/20 水稻育苗作業(前期) 24(後期) |
| 4/15 大豆委託管理費の支払い(平成 30 年産大豆精算) | 6/9~水稻苗出荷開始(6/27 出荷終了) |
| 5/8 オペレーター安全講習会 | 6/28 田植え体験(開催中止) |
| 5/9 TMR センター落成式 | |

定例取締役会：主な内容について

- 4/1： 集落機械倉庫の建物共済について、各集落機械倉庫建物には、各種機械 1 台に対しての一律料金で設定した地代家賃の範囲内で、原則建物共済に加入してもらうよう、機械倉庫の管理者や責任者へ聞き取り調査を行うこととなりました。
- 5/7： 平成 30 年度機械導入・廃棄案について、今年度の農業経営基盤強化準備金 3,000 万円を取り崩し導入しつつ、修繕費がかさむ機械を処分する案の協議を諮りました。協議の結果、田植機を 1 台、自脱型コンバインを 1 台、乗用管理機を 1 台、ドローンを 1 機、フォークリフトを 1 台導入することとなり、自脱型コンバインを 2 台、田植機を 1 台、フォークリフトを 1 台処分することになりました。
- 農地賃借契約について、協議が諮られました。詳細を本誌 4 ページに掲載しております。
- 6/3： 育苗の納品について、集落毎に配布してある本社育苗引き換えチケット・(株)熊本野菜育苗センター育苗引き換えチケット及び納品日程の説明を行いました。

2019 年 水稻育苗実績

5/20 (内牧・外牧集落分) 3,457 箱生産

ひのひかり：306 箱、あきまさり：1,424 箱、夢あおば：1,727 箱

5/24 (後期分) 3,846 箱生産

ひのひかり：311 箱、あきまさり 670 箱、夢あおば：2,790 箱、ヒヨクモチ：75 箱

5/25 (密苗分) 72 箱生産

1 箱 290 g を 66 箱、340 g を 6 箱生産

5/27・28 育苗センターにて夢あおば：5000 箱生産

総合計 12,375 箱

※作業に協力して頂いた皆様、大変お世話になりました。



TMRセンター稼働開始

5月9日の落成式を経て、当社のTMRセンターが正式に稼働開始致しました。落成式にお越しいただいた来賓の方々より、当TMRセンターが大津町周辺における飼料生産の要所として期待が寄せられている趣旨の言葉を頂きました。現在、TMRセンターでは、水の恵みTMR1号(繁殖用)、水の恵みTMR2号(肥育前期用)の試供品製造及び、7月からの製品販売に取り組んでいくところですので、機械トラブルや生産工程の見直し等、対処すべき事柄が多々ありますが、ひとつひとつ改善点を見出し、良品の商品を出荷出来るよう努めて参りますので、ご期待ください。



写真は落成式後の施設見学会にて、実演を行っている様子。



水稲育苗

育苗センター ハウス内の様子



解、ご協力を頂き、育苗センターの夢あおばを優先的に出荷し、無事初年度を終えることが出来ました。今後も良き関係を築き、増加傾向にある育苗注文に協力して臨んでいく予定です。また、今回本社での育苗に関しても、良い苗が出来ているとお声を頂き、昨年に比べ10aあたりに使用する苗箱の数も少量で済んだとの報告もいくつかありました。今回の反省点を踏まえ、本社でも品質の向上、維持に精進してまいります。

増加する水稲苗の受注に対応すべく、今回の水稲育苗では岩坂にある熊本野菜育苗センター(旧社名・竹内園芸)に協力を求め、試験的に夢あおば5000箱の生産を委託致しました。今回も本社では5月20日、24日・25日(密苗播種)の2回に分け、播種作業を行いました。育苗センター側では、27・28日に播種作業が行われ、徹底した管理がなされていました。水稲苗は初めての取り扱いとのことでしたが、綺麗に芽の揃った苗を納品して頂きました。引き渡しに関しては、当初の想定より成長が早かった為、各集落の夢あおば注文者の皆様よりご理解

オペレーター安全講習会

5月8日、当社にてオペレーター安全講習会が開かれました。今回の講習会では、講師に当社では初となる㈱牛セキ九州を招き、13集落のオペレーター48名が講習を受けました。今回、会議室にて近年発生した事故件数の推移や、原因等をまとめた各種グラフの説明、事例を交えた安全対策の講義が行われ、機械格納庫下屋では実機を使用した



トラクター、コンバインのメンテナンス方法や、異常発生時の対処方法、特にコンバインでの作業中に発生しやすい、巻き込み時における非常停止ボタンの重要性について説明が行われました。配布された資料にも記載されていた通り、農作業事故は4～10月(農繁期)

での事故が多く割合を占めておりますので、今回の講習を踏まえ、参加したオペレーターの皆様と共に安全意識の向上に努め、作業に臨んで参ります。

令和元年、水稲防除がほぼドローンの時代へ。

一昨年より開始したドローンの水稲防除作業に関して、今年は一部集落のWCSを除き、委託を受けた全集落の主食用米・WCS・飼料用米の水稲一斉防除をドローンで行うこととなりました。委託作業の増加に伴い、当社では新たにもう一台ドローンを導入し、計2台体制で作業に臨みます。飛行箇所が増えたことで、これまでの乗用管理機による散布作業では見えなかった、ドローンならではの注意すべき点が多く発見できる機会にもなりますので、これまで以上に作業を行う圍場を注意深く観察して参ります。

散布当日は安全等に配慮し実施致しますので、散布予定地区の住民の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



写真は2台目となるMG-1K、当社では特注の木箱に格納し、保管しております。

令和元年水稲防除散布機計画

散布作物	主食用米	WCS	飼料用米
委託面積(1回目)	40,160m ²	217,440m ²	513,930m ²
使用農薬(1回目)	アプロードモンカットエアー	スタークル液剤10	アプロードモンカットエアー
散布濃度	8倍	8倍	8倍
委託面積(2回目)	38,540m ²		513,930m ²
使用農薬(2回目)	スタークル液剤10		スタークル液剤10
散布濃度	8倍		8倍

管理課よりお知らせ

農地中間管理事業（熊本県農業公社）による 農地賃借契約について

ネットワーク大津(株)設立当初に農地賃借契約（利用権設定）を大津町農業委員会通して 6 年契約を結んでいます。その契約期限満了に伴い、取締役会で農地中間管理機構を通して 10 年間の再契約が可決されました。また、労務班主導という事で農地中間管理機構から労務班へ説明会が開催されています。

今年の 8 月から契約の期限満了となります。順次、集落説明会を開き、意思表示・契約を集落毎に進めて行く予定です。

【なぜ農地賃借契約が必要になるのか】

交付金作物の申請には認定農業者でないとなりません。法人（ネットワーク大津(株)）が認定農業者で交付金の申請を行います。そのため構成員の農地集積を特定農作業委託契約書や農地賃借契約（利用権設定）で行い、それが経営面積となります。また農地賃借契約を結ぶと出し手や受け手の権利や農地の有効活用といったメリットとなります。農地賃借契約を農地中間管理機構（熊本県農業公社）の公的機関が間に入り契約を結んで頂きます。



今後の予定

毎月 第 1 月曜日 定例取締役会

7/1 集落運営費の支払い
7 月中旬 大豆播種
7 月下旬 稲わら契約書の配布
8 月上旬 第 1 回水稻一斉防除
8 月上旬 下期監査
8 月上旬 農作業委託契約書の取りまとめ

8 月中旬 第 1 回大豆防除
8 月下旬 第 2 回水稻一斉防除
9 月上旬 第 2 回大豆防除
9/12 第 7 回定時株主総会
9 月下旬 SGS 刈取り・製造作業開始
9 月下旬 オペレーター研修会



[お問い合わせ先] ネットワーク大津株式会社 熊本県菊池郡大津町陣内 427

TEL 096-285-4080 FAX 096-285-4909

HP <http://www.network-ozu.com>

発行責任者：齊藤洋征

広報責任者：國武誠司・右田哲章